

平成 29 年度新宿区外部評価委員会第 1 部会  
第 12 回会議概要

<開催日>

平成 29 年 11 月 13 日（月）

<場所>

本庁舎 6 階 第 4 委員会室

<出席者>

外部評価委員（3 名）

星部会長、荻野委員、野澤委員

事務局（4 名）

行政管理課長、池田主査、三枝主査、原田主任

説明者（3 名）

道路課長、交通対策課長、都市計画課長

【部会長】

ただ今から、第12回新宿区外部評価委員会第1部会を開催します。

本日は、行政評価の手法等の検証として、外部評価の試行を実施します。お手元の次第のとおりに、ヒアリングと評価の取りまとめを行います。所管課とのヒアリングを1時間程度行った後、第1部会としての評価の取りまとめを1時間30分程度行う予定です。

では、次第1「ヒアリングの実施」です。「個別施策Ⅲ-6 交通環境の整備」について、ヒアリングを行います。

<ヒアリングの実施（説明及び質疑）>

【部会長】

ヒアリングは以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。

<説明者 退室>

【部会長】

続いて、次第2「評価の取りまとめ」に入ります。

評価の取りまとめは、はじめに、各自で個人としての評価を取りまとめていただきます。その後、各委員の評価を基に、部会としての評価の取りまとめを行います。

<評価の取りまとめ>

【部会長】

評価の取りまとめ、お疲れさまでした。

では、各委員から実際に試行してみたの感想等を伺いたいと思います。

まず、私からですが、実際に試行してみて、個別施策を構成している事業の中の1つの経常事業について議論になるということが起こり得るということが分かりました。施策評価の中でそのような議論となった場合に、外部評価の意見として記載すべきであり、部会としての意見をまとめて外部評価チェックシートを書いていくことが必要になるということが分かったこと、それが本日の試行の最大の成果ではないでしょうか。

**【事務局】**

外部評価チェックシートの「総合評価」欄は、施策全体の総合的な評価を記載していただきます。「計画事業及び経常事業の取組状況に対する意見」という欄がありますので、そこに経常事業についての意見を具体的に書いていただくということもあり得るかと思います。経常事業の取組状況に対するご意見を頂くということ自体は全く問題ありません。

**【部会長】**

外部評価チェックシートの「役割」欄に何を書いてほしいのかということをもう少し明確にする必要がありますね。

**【事務局】**

施策評価シートの「分析・評価」欄の分析の視点として、「役割」「効率性」「有効性」「成果」の4項目あります。それぞれの視点について内部評価をしていますので、それについて特にご意見があれば書いていただければと思います。

**【委員】**

役割の視点の内部評価は「おおむね取り組んでいる」と評価していますが、それに対して外部評価するというのでしょうか。

**【部会長】**

それは難しいと思うので、例えば、個別の事業を見たときに、行政、区民、事業者、町会などの役割分担があまり適切ではないと思うことがあれば、具体的に意見を書けば良いのではないのでしょうか。

**【事務局】**

個別施策を構成している計画事業や経常事業の中で、例えば、各主体の取組の一部分についてはできていないと感じたら、外部評価チェックシートの「役割」欄に意見を書いていただくということを想定しています。施策評価シートのこの行だけを見て書くというのはちょっと厳しいと考えています。計画事業や経常事業の情報も提供していますので、それを含めて、評価の中ではおおむね取り組んでいると評価しているけど、ちょっとこの部分は違うのではないか、あるいは、もっと良い評価で良いのではないかという意見があれば書いていただくという形を考えています。

**【部会長】**

本日の試行で経常事業について議論になりましたが、例えば、外部評価チェックシートの「有効性」欄にあまり効果がないのではないかという意見を書くこともあり得ますね。

**【事務局】**

外部評価委員の評価については、施策全体の評価を「総合評価」欄に書いていただき、そのほかの経常事業や計画事業については、それ以外の欄に意見を書いていただくという形になると思います。

**【部会長】**

今後実施していく施策評価は、区政をより広い視点から全体を見渡すということですが、全体を見渡した場合に、全てをひとくくりで評価することはできないので、個別の事業についても気になる点について意見をしていくということですね。個別施策の評価は、全体的に「目標どおり」なるのではないかと思います、そのようなやり方になりそうな感じがします。

**【事務局】**

評価の順番としては、総合評価の結論を出していただく前に、それぞれの事業に対する意見等を出していただき、それを踏まえて施策全体として評価するという順番になると思います。

**【委員】**

事業単位でそれぞれ評価して、それらを踏まえて施策全体で評価するということでは、これまでとあまり変わらないのではないですか。

**【部会長】**

試行してみて感じましたが、これまで計画事業単位で一つひとつ評価していましたが、施策評価では、特に気になる事業のみ意見を書けばよいので、これまでの評価作業より効率性は良くなるかもしれませんね。

**【委員】**

施策評価としては、内部評価にしても外部評価にしても、おおむね良いという評価になってしまいますよね。

**【部会長】**

よほどのことがない限りそうなるのではないかと思います。

**【委員】**

事業の範囲も広いので、施策として駄目だということはなかなか難しいですね。

**【委員】**

やはり施策評価シートの目標設定が気になります。

**【事務局】**

今回の試行で選んだこの施策の目標設定については、施策全体の目標設定ではなく、施策を構成する計画事業の指標から選んで記載していますので、施策全体を考慮して設定されている目標ではありません。今後は、現在策定している総合計画の中で、施策単位での目標を区としても設定していきますので、その際は、施策全体として設定された目標を記載する形になります。

**【部会長】**

ほかに何かあればお願いします。

**【委員】**

今回の試行は、自転車に関する事業など比較的分かりやすい事業内容だったので何とか評価できましたが、まちづくりや道路の整備など、評価が難しい事業もありますよね。平成29年度の内部評価でも、事業全体としては進んでいるにもかかわらず、計画事業の単年度の評価としては達成度が低いため、内部評価を「計画以下」と評価する事業がありました。事業としては着実に進んでいると評価できる場合の外部評価を「適当である」とするのか「適当でない」とするのかということについても、もう少し議論しておいた方が良いのではないのでしょうか。

**【部会長】**

今回の試行における外部評価チェックシートでは、内部評価はあくまで参考ということになっています。これまでの外部評価は、内部評価の結果に対して適当であるか適当でないか評価していましたが、今回は内部評価はあくまで参考で、内部評価を通じて部会として施策が「目標以上」か「目標どおり」か「目標以下」かを評価するということですので、そのような問題は生じないかと思います。

**【委員】**

事業はきちんと実施していても、施策として目標に達してないということもあるのでしょうか。

**【事務局】**

施策の全体的な進捗として、順調に進んでいないという判断はあると思います。

**【委員】**

区には地域ごとに様々な特性があります。住民が多いところ少ないところ、新宿駅周辺と住宅地など全く異なる地域があり、それらを全てまとめて施策として実施しようということであれば、評価というのは本当に難しくなりますよね。

**【部会長】**

いろいろな施策があると思いますが、1つの施策で区全体のことをまとめてやるわけではなく、場所や地域特性などに応じて施策ごとにやってみることは違うと思います。住宅地と商業エリアでは施策の内容も主体も全く違いますので、そのようなところに注目して考えれば良いと思います。

**【事務局】**

これまでの外部評価においても委員の皆様にも事前の準備をしていただいて、大変だった面はあるかと思います。事業単位の評価でしたのでヒアリングの場での所管課とのやり取りの中で分かる部分も多かったと思います。今後、施策単位の評価を実施していくに当たっては、計画事業、経常事業の数や範囲が広がるので、これまでのようにヒアリングの場だけで判断し評価することが難しくなると思います。そのため、委員の皆様の事前準備などのご負担はこれまで以上に多くなるのではないかという懸念もあります。

**【部会長】**

平成29年度と平成30年度で会議の延べ時間はどのように変わりますか。

**【事務局】**

部会の回数は少なくなる想定です。しかし、これまでのようにすぐにヒアリングを実施するのではなく、ヒアリングを実施する前に部会で集まってお話しいただき、施策についての勉強やレクチャーのようなことを行い、部会の中で論点を整理して、共通認識を持った上で、ヒアリングを実施していこうと考えています。

【部会長】

施策評価は何施策を対象に実施するのでしょうか。

【事務局】

施策を構成している事業数等にもよりますが、1施策か2施策を考えています。

【部会長】

一つの施策についてヒアリングを2回か3回実施するということですね。

【事務局】

必要に応じて現地視察も行う予定です。

【部会長】

十分評価できそうな気がしますね。

【委員】

個別の計画事業を評価しているときは施策全体で評価した方が良いのではないかとおっしゃいましたが、実際に試行して、施策を評価することはなかなか難しいとおっしゃいました。

施策評価を1枚の外部評価チェックシートに書くことはすごく難しく、例えば、これまでと同じように施策を構成する計画事業を一つひとつ評価して、それを施策全体としてまとめていくというような作業をした方が的確な評価になるのではないのでしょうか。

【部会長】

これまでの外部評価でも、個人の作業として、個別の事業についてコメントをメモして、必要なことを外部評価チェックシートにまとめて書くという作業が必要でしたので、施策評価になっても作業としては同じですね。しかし、気になった事業についてのみ意見を書けばいいということになれば、作業量としては減り、必要な意見だけ書き込めるようになる気がします。

【委員】

そうすると、施策評価としては、おおむね良好という結論になってしまいますよね。

【部会長】

そう思います。

【委員】

それでは外部評価を行う意味がなくなるのではないのでしょうか。外部評価というのは、区の説明責任として区が内部評価を行い、それに対し区民はどのように思うのかを区民視点で評価するものだと思います。

【部会長】

それはそうだと思いますので、一部問題ありという評価ができるように評価結果を3択ではなく、5択ぐらいにするというのはどうでしょうか。

**【事務局】**

実際に試行してみて、3択の評価では難しいということであれば、今後、ご意見をいただければと思います。

**【部会長】**

では、本日は以上で終わりたいと思います。お疲れさまでした。

<閉会>